

# 道徳学習指導案

平成29年2月22日（水）5校時  
にしみたか学園三鷹市立第二小学校 6学年1組  
指導者：荒畑美貴子

- 1 主題 相手の気持ちを尊重する表現を
- 2 内容項目 B 相互理解 寛容
- 3 教材名 「ナイトウォーク」

## 4 児童の実態・ねらいとする道徳的価値について

思春期の入り口に立っている6年生の児童は、正しいと思うことに素直な反応ができなかったり、批判的になってしまったりすることがある。それが悪いとわかっているにもかかわらず集団の考えに流されて、特定の友達を追い込んでしまうこともある。

しかし、思いやりのある言動に対して集団で批判をすることは、勇気をもって意見を言おうとしている児童の心を閉ざすことにもなりかねない。ともすると、いじめに発展してしまう危険性もある。そして、自分の都合で相手の意見をつぶし合うことが続けば、クラス全体の雰囲気が悪化させていくことになる。

人と関わるには、スキルが必要である。ソーシャルスキルやコミュニケーションスキルである。それらのスキルを身に付けることができれば、自分の考えや意見を、相手の考えを尊重しながら誤解なく伝えることができるようになってくる。

本授業では、ソーシャルスキルトレーニング（※1）とアサーショントレーニング（※2）の手法を用いることによって、気持ちを深く感じ取ったりスキルアップを図ったりさせることを通し、問題解決の糸口を探らせていく。それによって、相互理解を図ったり相手を寛容に受けとめたりすることの大切さに気付かせたい。

※1 ソーシャルスキルとは、人との関係を円滑に築き維持していくためのコツである。それを身に付けるためには、練習が必要であるという考えから生まれた。当初は発達障害のある児童への訓練として用いられてきたが、通常学級においてもスキルアップの必要性が高まり、注目される手法となってきた。

道徳の教科化に伴って示された目標の中の「道徳的な実践意欲と態度」を培うためにも、ソーシャルスキルトレーニングの手法を用いることは効果的であると考えられる。

その手法とは、目標や場の設定、モデリング（よい手本や悪い見本を見せる）、好ましいスキルの確認、リハーサル（グループに分かれて役割演技をしながら練習する）、フィードバック（振り返り）の手順で行われることが多い。

※2 アサーショントレーニングは、コミュニケーションスキルを高めるための手法のひとつである。相手の気持ちを尊重しつつも、自分の考えを爽やかに主張する力をつけるために用いられる。

人の言い方には、攻撃的なもの（相手を攻撃することによって、自分の考えを押し通そうとする話し方）、受け身的なもの（自分の考えを押し殺し、当たり障りのないことを言っていればいだろうといった話し方）、主張的（相手の気持ちを尊重しながら、自分の考えを上手に伝える話し方）なものの3種類があることを知り、主張的な表現を工夫していこうという意欲を育てるのに有効である。

互いの主張を尊重し合うような関係を、「アサーティブな関係」と呼ぶ。

「自分にもいい、相手にもいい」というWin-Winな関係を作っていこうという考え方は、ソーシャルスキルの根底に流れる考え方となっている。

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・友達に対して批判的になってしまう傾向を問題と捉え、それをどのように解決すればいいのかを考えようとする。
- ・相手の考えを尊重しつつ自分の考えを伝えるスキルを身に付けることによって、互いが心地よく生活できることに気付く。

(2) 本時の展開

展開	学習活動	主な発問 (○) と児童の反応 (●)	指導上の手立て
導入	<p>1 課題を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文の範読を聞き、どのようなことが問題なのかを考える。</li> <li>・課題だと思うことを発表する。</li> </ul>	<p>○これから「ナイトウォーク」という資料を読みます。その中で、問題になっている点はどこかを考えながら聞きましょう。</p>	
	<p>★友達の発言に対し、集団で批判的な言葉を浴びせてしまうのはなぜかを考え、どのようにしていけばいいのかを話し合おう。</p>		
展開	<p>2 言い合いをしている場面を劇化し、互いの心情を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じ取った気持ちを、ワークシートに書き込む。</li> </ul>	<p>○主人公の「ぼく」や、彼の提案を批判した仲間の心情を、役割を交替しながら演じて感じ取りましょう。</p> <p>●「ぼく」を演じて… 上から目線だったのかもしれないと言われて嫌な気分になった</p> <p>●友達を演じて… 自分勝手なことを言ったと思う みんなが言っているからつい言った 言ってみたら嫌な気持ちになった</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の17行目から23行目までの場面を、役割を交替しながら演じさせる。(劇化)</li> <li>※どの児童にも演じる場所やセリフがわかるように、教材文に★や「ぼく」「A」などを書き入れる。</li> </ul>
	<p>3 どうしてこのような場面で批判的なことを言ってしまうのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書き込む。</li> <li>・グループで意見を出し合う。</li> </ul>	<p>○どうして友達に対して、集団で批判的な意見を言ってしまうのか、考えてみましょう。</p> <p>●もしかしたら、自分の思い通りの意見を通そうと思った。</p> <p>●もしかしたら、自分が仲間はずれになりたくないという気持ちが働いたから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書き込んだことを基に意見を出し合い、話し合わせる。(対話的な活動)</li> <li>※「もしかしたら…だったのかもしれない」という表現を使わせることによって、多様な意見を出しやすくする。</li> </ul>
	<p>4 次の実行委員会をどのように始めるのかを考える。</p>	<p>○次の実行委員会でナイトウォークのパートナーの決め方を話し合う場面になったときのやりとりを考えてみましょう。</p> <p>●友達のセリフ 「くじ引きも含めて、仲間はずれにしないような決め方をしてはどうかと思います」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アサーティブな関係をつくっていくための話し方を意識して、劇化する。</li> </ul>

		<p>●「ぼく」のセリフ 「くじ引き以外でも、もっといい方法があるなら、みんなで考えて工夫していけばいいと思います」</p>	
まとめ	<p>4 アサーティブな関係を維持するためには、何が大切かをまとめる。 ・本時の感想を発表する。</p>	<p>○今日の学習を振り返って、友達との関係を良好に保っていくために考えるべきことや、コツをまとめましょう。</p>	

(3) 評価

- ・友達との関係を良好に維持していくためには、相手を尊重するような言動を心がけていく必要があることに気付くことができたか。